

各都道府県における地域戦略の目標等について

北海道	名称	北海道生物多様性保全計画
	計画期間	2010年7月～概ね10年
	目標等	【目標】 1 地域の特性に応じた多様な生態系や動植物の保全 2 地域の特性に応じた生態系構成要素の持続可能な利用
青森県	名称	青森県生物多様性戦略 いきものたちを育む恵みを受ける自然と共に生きる青森を目指して
	計画期間	2014年度～2023年度
	目標等	【基本理念】 いきものたちを育て恵みを受ける自然と共に生きるあおもり 【2050年目標】 知る：人と自然のつながりを理解し次代に伝えるあおもり 活かす：生物多様性がもたらす恵みを活かすあおもり 守る：いきものたちの命を守り育てるあおもり
岩手県	名称	岩手県環境基本計画の一部
	計画期間	2021年度～2030年度
	目標等	【目指す姿（本施策分野が目指す将来像）】 ○ 森や里、川、海の優れた自然環境が適切に保全されるとともに、生物の多様性や地域固有の生態系が確保され、人と野生動植物が共生している。 ○ 優れた景観や自然環境を有する自然公園、身近な自然とのふれあいの場である森林公園や都市公園等が適切に保護・管理され、野外リクリエーションの場、環境を学ぶ場として多くの県民に親しまれ、利用されている。 ○ 環境に配慮した農林水産業の展開や、環境と調和した農地等の利用により、森林、農地、海岸の環境保全機能が持続的に発揮されている。
宮城県	名称	宮城県生物多様性地域戦略（第一次改訂） —美しい森・田んぼ・海がつながり子どもの笑顔が輝くふるさと宮城の実現—
	計画期間	2015年度～2034年度
	目標等	【令和16年度（2034年度）の県土の将来像】 自然に寄り添い、然と共に生きるふるさと宮城 —美しい森・田んぼ・川・海がつながり、子どもの笑顔が輝くふるさと宮城—
秋田県	名称	秋田県生物多様性地域戦略
	計画期間	2021年度～2030年度
	目標等	【基本理念】 人と自然が共生する豊かでうるおいのある秋田県を目指す 【長期目標（2050年）】 生物多様性の維持・回復と持続可能な利用を通じて、本県の生物多様性の状態を現状以上に豊かなものとするとともに、生態系サービスを将来にわたって享受できる、人と自然が共生する豊かでうるおいのある秋田県を実現します。 【短期目標（2030年）】 1 多様な生態系の保全 2 野生動植物の保護 3 外来種への対応 4 生物多様性の主流化 5 地球温暖化防止と普及啓発
山形県	名称	山形県環境計画の一部
	計画期間	2021年度～2030年度
	目標等	【目指す将来の姿】 ○ 生物多様性の重要性が広く認識され、多様な主体が保全活動に参画している。 ○ 生物多様性がもたらす豊かな恵みを享受し、持続的に活用している。 ○ 本県ならではの自然環境や景観などの環境資産を活かした取組みにより、地域の活性化が図られている。

福島県	名称	ふくしま生物多様性推進計画【第2次】
	計画期間	2011年度～2022年度
	目標等	【基本目標】 自然と人が育む、生物多様性豊かな“新生ふくしま”
茨城県	名称	茨城の生物多様性戦略
	目標期間	中長期目標：～2064年 短期目標：～2024年
	目標等	【中長期目標（2015～2064年）】 1 山地、里地里山、河川・湖沼、沿岸域など、様々な生態系で、生物多様性の保全と回復を図り、豊かな自然を維持します。 2 生物多様性の重要性を理解し、その保全に積極的に努める社会を創成します。 3 生態系の持続可能な利用によって、調和のとれた発展を可能にする社会を創成します。 4 人と自然が調和・共存し、世代を越えてそれを守り伝えられる社会を創成します。 【短期目標（2015～2024年）】 1 施策の実行に必要な各種資料を収集整理し、データベース化を進めます。 2 個別の課題に対応した施策を着実に推進します。 3 戦略の実現を推進する拠点組織や、必要に応じた条例等の整備を進めます。 4 国、市町村、隣県との連携、大学・研究機関との連携を推進するとともに、教育普及活動を展開し、市民・企業の自発的活動を支援します。
栃木県	名称	生物多様性とちぎ戦略～つなごう いのちの共生を いま「とちぎ」から～
	計画期間	2010年9月～概ね10年間
	目標等	【基本理念】 豊かな生物多様性を守り育て、その恵みを次の世代に引き継ぐ「人と自然が共生するとちぎ」の実現 【目標】 ○ 多様な生物とそれらのつながりを育む社会 ○ 将来にわたって生物多様性からの恵みを分かち合う社会 ○ 多様な主体の協働により自然との共生を守り育てる社会
群馬県	名称	生物多様性ぐんま戦略 恵み豊かな自然を未来へつなぐ群馬県～生物多様性を守り賢く活かす～
	計画期間	2017年度～2026年度
	目標等	【基本理念】 恵み豊かな自然を未来へつなぐ群馬県～生物多様性を守り賢く活かす～ 【戦略目標（10年後の姿）】 1 県民の理解が深まり参加が進んでいる 2 生態系の劣化が食い止められている 3 保全と利用の好循環への取組が進んでいる 4 科学的知見に基づく中長期的課題が検討されている 5 継続的な取組の体制が整えられている
埼玉県	名称	埼玉県生物多様性保全戦略
	計画期間	2017年度～2021年度
	目標等	【基本戦略】 1 多面的機能を発揮する森林の豊かな環境を守り、育てる 2 里地里山の多様な生態系ネットワークを形成する 3 都市環境における緑を創出し、人と自然が共生する社会をつくる
千葉県	名称	生物多様性ちば県戦略 生命（いのち）のにぎわいとつながりを未来の子どもたちの未来へ
	計画期間	2008年3月～2058年3月
	目標等	【目標】 1 多様な生物とその豊かな生命（いのち）のつながりを育む社会 2 生物多様性からもたらされる資源が循環する持続可能な社会 3 人と自然が調和・共存し、その豊かな自然と文化を守り伝える社会

東京都	名称	緑施策の新展開～生物多様性の保全に向けた基本戦略～
	目標期間	～2020年
	目標等	<p>【目指すべき東京の将来像】</p> <ol style="list-style-type: none"> 四季折々の緑が都市に彩りを与え、地域ごとにバランスの取れた生態系を再生し、人と生きものの共生する都市空間を形成している。 豊かな緑が、人々にうるおいやすらぎを与えるとともに、延焼防止や都市水害の軽減、気温や湿度の安定等に寄与し、都民の安心で快適な暮らしに貢献している。 東京で活動する多様な主体が生物多様性の重要性を理解し、行動している。 <p>【目標（2020年）】</p> <ol style="list-style-type: none"> まもる～緑の保全強化～ <ul style="list-style-type: none"> 東京に残された貴重な緑である農地や森林などが保全されている。 生態系に配慮した緑の確保や外来種対策等が講じられ、希少種等の保全が進んでいる。 水質改善の取組が進み、川や海などの水辺空間が、都民により一層身近なものとなっている。 つくる～緑のネットワーク化～ <ul style="list-style-type: none"> 2016年までの10年間で1,000haの新たな緑が創出されるとともに、2020年までに新たに都市公園等433haの整備が進むなど、緑あふれる都市東京が実現している。 荒川から石神井川、調布保谷線を通じて多摩川へとつながる直径30kmの緑のリングが形成されるなど、公園や緑地を街路樹や緑化された河川で結ぶ「グリーンロード・ネットワーク」が充実している。 利用する～緑の持続可能な利用の促進～ <ul style="list-style-type: none"> 都民、企業、NPOなど、あらゆる主体が生物多様性の重要性を理解し、行動している。 緑のムーブメントが定着し、都民、企業等による主体的な緑化や保全活動が活性化している。
神奈川県	名称	かながわ生物多様性計画 生きものの恵みを次の世代へ
	計画期間	2016年度～2020年度
	目標等	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の特性に応じた生物多様性の保全 生物多様性の理解と保全行動の促進
新潟県	名称	新潟県生物多様性地域計画～人と生きものが共生する魅力ある新潟の創造～
	計画期間	2017年度～2028年度
	目標等	<p>【基本理念】 人と生きものが共生する魅力ある新潟の創造</p> <p>【基本目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 豊かな自然環境と生物多様性の保全 生物多様性の恵みによる生業とくらしの充実 生物多様性を育む社会づくりと継承
富山県	名称	富山県生物多様性保全推進プラン
	計画期間	2014年度～2021年度
	目標等	<p>【理念】 立山連峰から富山湾まで 豊かな自然を未来へ</p> <p>【グランドデザイン】 50年から100年単位での長期的な視点に立った県土のグランドデザインを、実現すべき環境条件、そこで生息・生育する同植物の姿、生物多様性の持続的利用の観点から示している。</p> <p>【目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 生物多様性の重要性について県民の理解を深め、行動につなげていく 北アルプスから富山湾に至るまでの様々な生態系のつながりを確保し、そこに生息・生育する野生生物を保護する 野生生物と人との共生を図るとともに、生物多様性保全型の農林水産業等を推進する

石川県	名称	石川県生物多様性戦略ビジョン 一トキが飛ばたくいしかわを目指してー
	目標期間	中長期目標：～2050年 短期目標：～2020年
	目標等	<p>【中長期目標（2050年目標）】 いのちあふれ トキが舞う 里山里海を未来の世代へ</p> <p>【40年後（2050年）のビジョン（望ましい姿）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生物多様性への配慮が社会に浸透した「いしかわ」 ○ 生物多様性が確保され、野生のトキが舞う「いしかわ」 ○ 生物多様性保全の取組を世界に発信する「いしかわ」 <p>【短期目標（2020年目標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 里山里海における新たな価値の創造 2 多様な主体の参画による新しい里山づくり 3 森・里・川・海の連環に配慮した生態系の保全 4 多様な人材の育成・ネットワークの推進 5 積極的な種の保存と適切な野生生物の保護管理 6 生物多様性の恵みに関する理解の浸透 7 国際的な情報の共有と発信
福井県	名称	福井県環境基本計画の一部
	計画期間	2018年度～2022年度
	目標等	<p>【目標】</p> <p>人と自然が共生することにより維持されてきた本県の豊かな生態系や生き物を守っていくため、生物多様性の現状を適切に把握し、保全・管理していくことを目指します。</p>
山梨県	名称	第2次山梨県環境基本計画の一部
	計画期間	2014年3月～2023年度
	目標等	<p>【目指すべき将来像】</p> <p>生物多様性に富んだ自然共生社会</p>
長野県	名称	生物多様性ながの県戦略 未来へつなごう 生命（いのち）のにぎわい 「人と自然が共生する信州」の実現
	目標期間	中長期目標：～2050年 短期目標：～2020年
	目標等	<p>【理念】</p> <p>生命（いのち）のにぎわいと恵みを未来へ</p> <p>【中長期の目標（2050年）（ビジョン（展望））】</p> <p>生命（いのち）にぎわう『人と自然が共生する信州』の実現</p> <p>【短期の目標（2020年）（ミッション（使命））】</p> <p>生物多様性の損失を止めるために、2020年までに効果的で緊急な行動を実施します。</p>
岐阜県	名称	生物多様性ぎふ戦略
	目標期間	～2021年7月
	目標等	<p>【3つの視点と10年後の目指すべき姿（目標）】</p> <p>視点1：森・里・川・海のつながりを守る</p> <p>10年後の目指すべき姿（目標）：</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 原生林、二次林、湿地、河川、里地など、それぞれの生態系において、生態系、種、遺伝子の3つのレベルにおける多様性が保全される適切な取り組みが行われている。 <p>など 6目標</p> <p>視点2：いのちを活かし、暮らしにつなぐ</p> <p>10年後の目指すべき姿（目標）：</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 人間が生物多様性に適切に関わることによって、その保全につながることを県民が広く認知している。 <p>など 6目標</p> <p>視点3：ともに考え続ける</p>

		10年後の目指すべき姿（目標）： ○ 生物多様性に関し、生態系や種の多様性のみならず、遺伝子の多様性*についても理解が浸透している。 など 6目標
静岡県	名称	ふじのくに生物多様性地域戦略 生物多様性の大切さを理解し、力を合わせて生物多様性にめぐまれた理想郷”ふじのくに”に生きる
	計画期間	2018年度～2027年度
	目標等	<p>【基本理念】 自然のしくみを基礎とする 真に豊かな社会をつくる</p> <p>【社会全体の将来像】</p> <p>○ 県民、事業者、民間団体、教育機関・研究機関・専門家、行政等を含むあらゆる主体が生物多様性の価値や現状を広く認識し、生物多様性の保全や持続可能な利用に向けた取組について考え、自ら積極的に取り組むとともに、互いに連携・協働しています。</p> <p>○ 各地域の生物多様性が保全・活用され、それによって特徴ある地域文化が維持されるとともに、観光や地域振興にも役立っています。</p> <p>○ 行政の施策や事業者の活動に生物多様性の保全が織り込まれるとともに、それらの行動が県民をはじめ、社会全体で評価される「生物多様性の主流化」が進んでいます。</p> <p>○ 事業者が自らの事業活動の中で生物多様性のめぐみが保全されることにより、地域の環境保全、地域振興・活性化につながり、それが中長期的には持続可能な事業活動を支える基盤づくりにつながっています。</p> <p>○ 県内の生物多様性について、研究者や関係機関をはじめ、県民、事業者、民間団体等と連携した調査・研究が進められ蓄積された情報は、発表する機会を設けて活用できるようになっています。</p> <p>【生態系ごとの将来像】</p> <p>○ 全体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内の各地域の様々なタイプの生態系の中で資源が循環するとともに、生態系が相互につながっており、補完し支え合う関係（自然共生圏）が成り立っています。例えば生物多様性のめぐみは、奥山や里地里山・田園をはじめとした豊かな自然環境の残る地域が主な供給源となっていますが、その恩恵を受けている都市の資金や人材、情報をこれらの地域に供給することで、生態系全体が持続可能なものとなっています。 ・ 生態系ごとの循環やつながりを多くの県民等が理解し、大切に守るとともに、失われつつあるつながりを回復させる活動に参画しています。 <p>※ このほか、5つの生態系ごとに将来像を設定</p>
愛知県	名称	あいち生物多様性戦略 2030
	計画期間	2021年度～2030年度
	目標等	<p>【長期目標（2050年ビジョン）】</p> <p>○ 人と自然が共生するあいち 様々な立場の人々が生物多様性への意識を高め、そのコラボレーション（協働）によって生きものがすみ場所が確保され、本来、その場所にいるべき野生の生きものと人が共に生きていけるあいち</p> <p>【計画目標（2030年目標）】</p> <p>人と自然の共生に向けて、生物多様性を主流化し、あらゆる立場の人々が連携して最大限の行動をとることにより、生物多様性の保全と持続可能な利用を社会実装し、その回復に転じる。</p>
三重県	名称	みえ生物多様性推進プラン（第3期）
	計画期間	2020年度～2023年度
	目標等	<p>【基本理念】</p> <p>三重の風土によって私たちは生かされています ～この豊かな風土、生物多様性を大切に～</p>

滋賀県	名称	～自然本来の力を活かす、「滋賀のいのちの守り」～生物多様性しが戦略
	目標期間	長期目標：～2050年 短期目標：～2020年
	目標等	<p>【理念】 自然本来の力を活かし、世代を超えて引き継ぐ「いのちの守り」</p> <p>【長期目標（2050年）】 滋賀らしい「自然とのかかわり」のあり方を発展させることにより、生きものと人とが共存し、自然の恵みから生み出される多様な文化が展開する社会が実現されている。</p> <p>【短期目標（2020年）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生物多様性の危機に対して、緊急の取組が実施されている。 2 社会経済活動における生物多様性の保全・再生への配慮の組み込みと、生態系サービスの持続可能な利用の取組が進んでいる。 3 生物多様性に関する県民の理解が深まり、各主体による生物多様性に配慮した行動が広まっている。
京都府	名称	京都府生物多様性地域戦略 ～自然の恵みを次世代につなぐ人と自然の共生プラン～
	目標期間	長期目標：～2050年 短期目標：～2027年
	目標等	<p>【長期目標（2050年）】 京都が京都らしく、生態系と生活や文化が共存共栄する社会を持続可能なものとして将来に引き継いでいくため、従来の生態系維持・回復対策に加え、多様な主体が積極的に関わる共生型の生物多様性の保全と利活用を進めます。</p> <p>【短期目標（2027年）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 森里川海のつながりの回復による多様な生態系の保全 2 人の積極的な関与による里地域の再生 3 早期対策による外来生物の脅威の排除 4 生物多様性を未来に受け継ぐための知見の集積、人材育成
大阪府	名称	2030 大阪府環境総合計画の一部
	計画期間	2021年度～2030年度
	目標等	<p>【2050年のめざすべき将来像】 大阪から世界へ、現在から未来へ 府民がつくる暮らしやすい持続可能な社会</p> <p>【2030年の実現すべき姿】 いのち輝く SDGs 未来都市・大阪 ー環境施策を通じてー</p>
兵庫県	名称	生物多様性ひょうご戦略
	計画期間	2020年度～概ね10年間
	目標等	<p>【理念】 人と自然が共生する兵庫を私たちの手で未来へ</p> <p>【目標とする将来像】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 いのちの大切さを基本に、参画と協働のもとで多様な生物を育む社会 2 人の営みと自然が調和し、多様な生物のいのちのつながりとめぐみが循環・持続する社会 3 地域性豊かな自然と文化を守り育てる社会
奈良県	名称	生物多様性なら戦略～豊かな自然環境を未来の子どもたちに～
	目標期間	短期目標：～2020年 長期目標：～2050年
	目標等	<p>【基本方針（私たちの進むべき方向）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 長期的視野から生物多様性の重要性の普及啓発などに努めます。 2 人と自然のつながりの輪を大切にします。 3 さまざまな人々との連携・協働を図ります。 4 科学的知見の集積による生物多様性の保全に努めます。 <p>【目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生物多様性の保全と再生 2 生態系サービスの持続可能な利用

		<p>3 生物多様性を活用した地域の活性化 4 生物多様性を支える基盤づくり</p> <p>【中長期目標（2050年まで）】</p> <p>1 人と自然の共生を各地域レベルで実現させ、生物多様性の状態が豊かで、そのことを県民が誇りに思ってくれることを目指す。 2 豊かな自然環境と伝統ある歴史文化が融和した、美しいふるさと「奈良」を次世代に引き継いでいく。</p> <p>【短期目標（2020年まで）】</p> <p>1 現に絶滅の危機に瀕した種の個体数や生息・生育環境の維持・回復を図る。 2 生物多様性の分析、把握に努め、外来種防除対策や野生鳥獣の保護管理を強化する。 3 生物多様性を減少させない仕組みを構築し、世代を超えて生物資源の持続可能な利用を行う。 4 生物多様性を活用した地域の活性化を図る。 5 生物多様性の恵みに対する理解を県民に浸透させる。 6 生物多様性センターの機能を持つ拠点を設置する。</p>
和歌山県	名称	生物多様性和歌山戦略
	計画期間	2016年度～2020年度
	目標等	<p>【目指すべき取り組み】</p> <p>1 森林（1）天然林対策 県や市町村による天然林の買い取り実績は1,000ha以上あるが、今後も引き続いて源流地域に残る貴重な天然林などは、必要に応じて県や市町村など地方公共団体による買い取りなど様々な手段を講じて保護していく。 など 各分野について目指すべき取組を設定</p>
鳥取県	名称	鳥取県生物多様性地域戦略 『人と自然が共生するとっとり』を目指して
	目標期間	目標期間：～2030年3月
	目標等	<p>【目標】 人と自然が共生するとっとり</p>
島根県	名称	島根県環境総合計画の一部
	計画期間	2021年度～2030年度
	目標等	<p>【基本理念】 豊かな環境の保全と活用により、笑顔で暮らせる島根を目指す</p>
岡山県	名称	岡山県自然保護基本計画
	目標期間	目指すべき姿：～2040年頃
	目標等	<p>【目標】 自然との共生～暮らしを支える豊かな自然の継承～</p> <p>【目指すべき姿】</p> <p>○ 自然公園など県内の優れた自然環境が維持・継承され、地域の特性に応じたきめ細かい生態系への配慮によって多種多様な野生生物が生息・生育しています。 ○ 県民誰もが、自然保護や生物多様性の重要性を認識し、自然と共生する考えに基づく行動を実践しており、優れた自然環境から得られる暮らしの豊かさを実感しています。 ○ 適切な整備によって豊かな森が育ち、都市にも緑が配置されるなど、水と緑に恵まれた環境が広がっています。</p>
広島県	名称	未来へつなげ命の環！広島プラン～生物多様性広島戦略～
	目標期間	～2050年
	目標等	<p>【基本理念】 生物多様性がもたらす、豊かな恵みを将来の世代に継承できる人間と自然が共生する社会の実現</p> <p>【目標】</p> <p>1 生物多様性の重要性を認識し、多様な主体の参画により保全活動する社会 2 生物多様性を把握し、豊かな生命のつながりを保全する社会 3 生物多様性がもたらす恵みを将来の世代にわたって分かち合う社会</p>

山口県	名称	山口県環境基本計画(第4次計画)の一部
	計画期間	2021年度～2030年度
	目標等	【目標】 1 多様な生態系を保全・再生し、その恵みの持続可能な利用を進めます 2 希少野生動植物を守り、外来種の防除対策を進めます 3 生物多様性の重要性を県民と共有し、主体的な行動を促進します
徳島県	名称	生物多様性とくしま戦略
	計画期間	2018年10月～2023年10月
	目標等	【長期目標】 生物多様性という地域資源を活かした、コンパクトな循環型社会の実現 【方向性と目標】 (方向性Ⅰ) 自然と生き物に優しくエシカルに暮らす 目標1: 自然・生き物と人が共生した持続可能な社会を築くための人材を育成する 目標2: 自然と生き物を守っていくための情報を集積・共有する (方向性Ⅱ) 生物多様性の損失や生態系の劣化を阻止する 目標3: 化学物質による自然への負荷を減らす 目標4: 外来生物の侵入や野生鳥獣の増加による自然への負荷を減らす (方向性Ⅲ) 生態系の保全・回復・持続可能な活用を推進する 目標5: 野生生物・生態系を守り、良好な生態系を増やす 目標6: 野生生物・生態系を適正に管理し、持続的に活用していく (方向性Ⅳ) 生物多様性や生態系を保全する仕組みをつくる 目標7: 保全活動促進のための仕組みと制度を整え、活用する 目標8: 継続的な保全活動のための資金調達の仕組みをつくる
香川県	名称	香川県環境基本計画の一部
	計画期間	2021年度～2025年度
	目標等	【基本目標】 自然に親しみ、自然とともに生きる地域づくりの推進
愛媛県	名称	第2次 生物多様性えひめ戦略～伝えていこう！生きものの恵みと愛媛の暮らし～
	計画期間	2017年度～2026年度
	目標等	【目指すべき将来像】 100年先も 生きものみんな やさしい愛顔(えがお) 【中期目標(2050年)】 伝えていこう！生きものの恵みと愛媛の暮らし 【行動目標】 1 生物多様性の保全と人の営みの調和の推進 2 社会経済活動における生物多様性への配慮と恵みの活用の推進 3 生物多様性の価値の理解と行動の促進 4 未来につなぐ人材育成とネットワークの構築
高知県	名称	一ふるさとのいのちをつなぐ こうちプランー 生物多様性こうち戦略【改訂版】
	計画期間	2014年～2024年
	目標等	【基本理念】 ふるさとのいのちをつなぐ ～豊かな生きものの恵みを受けて 美味しく 楽しく ずっと暮らそう高知県～ 【目指すべき姿(2114年)】 地域が持続的に発展し、人と生きものが共に賑わうことによって地域資源が活用され、現状よりはるかに生物多様性が豊かな社会 【中期目標(2064年)】 生物多様性が保全・再生され、人と自然との共生が適正に実現している社会 【短期目標(2024年)】 生物多様性の損失を止めるために、生物多様性に配慮した活動や利活用が定着しつつある社会

福岡県	名称	福岡県生物多様性戦略2022-2026 ～生きものを支え、生きものに支えられる幸せを共感できる社会を目指して～
	計画期間	2022年度～2026年度
	目標等	<p>【目指す社会（2050年に実現すること）】 生きものを支え、生きものに支えられる幸せを共感できる社会</p> <p>【行動指針と目標】</p> <p>行動指針1：私たちの暮らしのなかで生物多様性を育みます 目標1-1：自然や生きものの豊かさを体感し、生物多様性に対する理解を深めます 目標1-2：地産地消や持続可能な消費を通じて、生物多様性の維持・向上を図ります 目標1-3：里地里山里海の豊かな恵みや伝統的生活文化を受け継ぎ、魅力ある地域づくりに貢献します</p> <p>行動指針2：生物多様性の保全と再生を図ります 目標2-1：重要地域を核とした生態系の保全・再生を図るとともに、それらをつなぐ生態系ネットワークの形成を進めます 目標2-2：絶滅危惧種の保護・回復に計画的に取り組み、絶滅を回避します 目標2-3：ワンヘルスを踏まえた生態系管理を推進し、野生鳥獣の増加や侵略的外来種による自然への負荷を低減させます 目標2-4：開発事業における生物多様性への配慮を推進し、その影響を回避・低減します</p> <p>行動指針3：生物多様性の恵みの持続可能な利用を図ります 目標3-1：持続可能な農林水産業を通じて、森林、農地、沿岸域の生物多様性の維持・向上を図ります 目標3-2：事業活動における生物多様性への配慮を浸透させ、その保全と持続可能な利用につなげます 目標3-3：自然環境や生態系を活用した気候変動対策やグリーンインフラ等の取組を推進します</p> <p>行動指針4：生物多様性を支える基盤とネットワークを構築します 目標4-1：生物多様性の保全・再生に向けた活動が持続的に展開できるよう、多様な主体の参加と協働を促進します 目標4-2：生物多様性に関する情報を収集・整理・活用し、保全活動を支援するための仕組みづくりを進めます</p>
佐賀県	名称	第4期佐賀県環境基本計画の一部
	計画期間	2021年度～2026年度
	目標等	<p>【目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 多様な種を保全（維持）していく 多様な生態系を保全・再生する 生物多様性の恵みに触れ親しむ
長崎県	名称	長崎県生物多様性保全戦略2021-2025
	計画期間	2021年3月～2025年度
	目標等	<p>【2050年目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 県民すべてが生物多様性の重要性を認識し、意思決定や行動に反映されている社会（生物多様性保全と持続可能な利用がライフスタイルに浸透している社会） 種の絶滅がなく、多様な生態系の保全・再生が図られ、生物多様性の恵みを持続的に享受できる自然環境が確保されている社会 地域資源の持続可能な活用により、地域が賑わい、人と自然が共生している社会 <p>【行動目標（2025年目標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 生物多様性の重要性についての県民の理解を深め、行動につなげていく（生物多様性の主流化を推進する） 自然環境の監視と種の保護・生態系の保全を強化する 人により持ち込まれた外来種等の侵入や定着・拡散を防止する 人とふるさとの自然とのつながりを回復し、多様な地域資源の活用を進める 生物多様性に関する基礎データの収集・整備を進める

熊本県	名称	生物多様性くまもと戦略
	計画期間	2011年4月～2023年3月
		【基本的な考え方】 生物多様性を保全し、その恵みを基礎とする豊かな社会をつくる 【目標（2020年）】 1 生態系の多様性を維持増進します 2 種の絶滅を可能な限り防ぎます 3 外来生物の侵入や蔓延を防止します 4 生物多様性の恵みを持続的に享受できるようにします 5 自然との共生を守り育てる社会をつくります 6 地球温暖化をはじめとした地球環境の変化への対策を推進します
大分県	名称	第2次生物多様性おおいた県戦略（2016-2020）
	計画期間	2016年度～2022年度
	目標等	【基本目標】 豊かな自然と人間とが共生するふるさと“おおいた”の創造 【基本方針】 1 豊かな生物多様性が人の暮らしを支えていることを理解する 2 生物多様性と人のつながりを考え行動する 3 生態系のつながりを大切に豊かな自然が残る地域や生きものを守る 4 生物多様性がもたらす恵みをより豊かにする 5 豊かな生物多様性を未来につなぐ
宮崎県	名称	みやざき自然との共生プラン生物多様性みやざき戦略
	目標期間	長期目標：～2050年 短期目標：～2020年
	目標等	【長期目標】 生物多様性のもたらす恩恵を将来世代に引き継ぐため、2050年までに「自然と共生する社会」を実現します。 【短期目標】 すべての県民は、2020年までに生物多様性の価値を認識し、それを保全し持続可能に利用するための行動を行います。
鹿児島県	名称	生物多様性鹿児島県戦略 ～新たな自然と共生する社会の実現を目指して～
	計画期間	2014年度～2023年度
	目標等	【基本理念】 「共生」と「循環」 【基本目標】 新たな「自然と共生する社会」の実現 【短期的目標（10年後の鹿児島のイメージ）】 1 県内における生物多様性の喪失が生じやすくなっており、自然河岸、干潟等の自然の水辺や自然林、二次草原等を増やすための自然再生の取組が住民の参加により始まっている。 など 13目標 【中長期的目標（30～50年後の鹿児島のイメージ）】 1 市街地においては、各所において、自然林や自然の水辺が取り戻され、日常生活の中で、子どもたちが、昆虫採集や魚釣りなどをして自然とふれあうことができる。 など 10目標
沖縄県	名称	生物多様性おきなわ戦略
	目標期間	中長期目標：～2030年 短期目標：～2022年
	目標等	【ランドデザイン（目指すべき将来像）】 自然を大切にする真心（ちむぐる）と、いきものとのゆいまーるを育む島々 【中長期目標（2030年）】 島々の生物多様性を育み、人と自然が共生する豊かな社会を形成する

		<p>【短期目標 (2022年)】</p> <ol style="list-style-type: none">1 生物多様性を保全・回復し、自然からの恵みを持続的に享受するための取組を拡大する2 生物多様性に関する理解を社会的に浸透させる
--	--	---